



お客さまや地域社会の負託に応える 生命保険産業を実現するために

社会的使命の達成に向けた生保労連の考え方

生保産業は国民からの「信頼」によって成り立つ産業であり、「信頼」なくしてお客さまや地域社会の負託に応えていくことはできません。

わたしたちは、社会性・公共性の高い産業の労働組合として、「生保産業の社会的使命の達成」に向けた取組みを一層推進していく必要があると考えています。

生命保険をめぐる現状

生命保険に対する選択意識の高まり

お客さまニーズの多様化・高度化や厳しい経済環境などを背景に、お客さまの生命保険に対する選択意識が高まっています。

わたしたちは、生保産業・生命保険にお客さまが求めるものが多様化・高度化していることをしっかりと受け止め、お客さまの負託に一層応えていく必要があると考えています。

お客さまや地域社会からの大きな期待

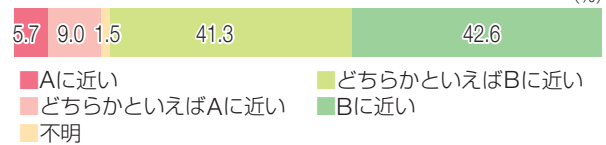
大多数の国民が、生活保障については「公的保障と私的保障の両方が必要」と考える中で、生命保険は遺族・老後・医療・介護いずれの保障分野においても、自助努力による生活保障手段として大いに期待されています。

また、生保産業は各地に営業拠点があり、全国くまなくお客さまに商品・サービスを提供するとともに、フェイス・トゥ・フェイスの活動を通じて、地域の方々と密接につながっています。こうした地域に根ざした活動により、人と人をつなぐ「かけはし」として、地域における役割発揮が一層求められています。

震災やパンデミックなどの災害が発生した際にも、お客さまの安否確認を行うとともに、保険金・給付金などの迅速なお支払いに努めており、生保労連では、生保産業や生命保険の担う役割やその重要性をわかりやすく伝えるために「生保の役割チラシ」を作成しています。

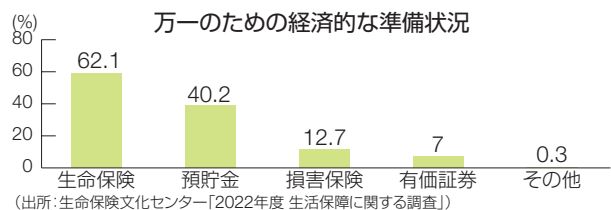
社会保障制度の補完的役割として期待が大きい生命保険

生活保障における公的保障と私的保障についての考え方 (%)



※A…公的保障だけで十分 B…公的保障と私的保障の両方が必要
(出所:生命保険文化センター「2024年度 生命保険に関する全国実態調査」)

生活保障手段として期待が大きい生命保険



【生保の役割チラシ】

わたしたちの基本的な考え方

生保産業として役割発揮すべき領域は大きい

わが国の生命保険世帯加入率は約8割となっており、「生保市場はもはや成熟し飽和状態にある」「拡大余地は乏しい」と指摘する向きもあります。しかし、国民・お客さま一人ひとりに目を転じてみれば、保障の内容・水準のいずれにおいても、十分なものではないと考えます。

「人生100年時代」を迎える中、人生で起きるリスクの長期

化・多様化への備えなど、生保産業として役割発揮すべき領域は今後一層拡大すると同時に、これまで以上にさまざまなバリエーションが求められると考えています。

また、国民生活のベースを支える社会保障制度を持続可能なものとしていくためにも、社会保障制度に対する生命保険の補完的役割は今後ますます高まるものと考えています。

さらなる役割発揮に向けて お客さまや地域社会との信頼関係の構築を

わたしたちは、生保産業がこうした役割をしっかりと果たし、国民・お客さまの期待に一層応えていくためには、誠実な事業活動の実践を通じて、お客さまや地域社会との信頼関係を築いていくことが何より大切であると考えています。

具体的には、2017年に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」も踏まえ、お客さまの身近で、地域に根ざした活動をさらに推進していきたいと考えています。

わたしたちの提言 ～「人生100年時代」を迎えて～

Our Proposal

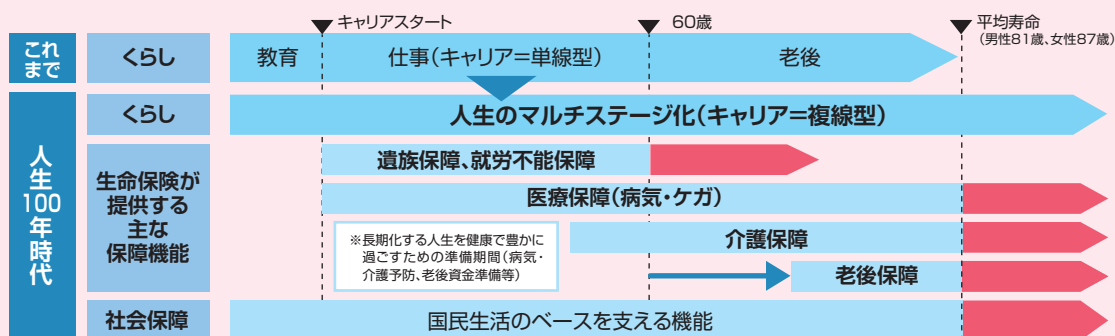
国民一人ひとりが自分らしく生活するために、 生保産業としてさらなる役割発揮を

長寿化や人生のマルチステージ化[※]が進む「人生100年時代」は、国民一人ひとりが持てる力を発揮し、自分らしく働きくらしていくことが一層求められる時代です。

こうした時代においては、社会保障制度に対する生命

保険の補完領域もますます拡大することから、生命保険には、国民一人ひとりの多様なニーズに対応し、自分らしく生きることを支える役割が一層期待されています。

※マルチステージ化とは、「教育→仕事→老後」といった3ステージかつ単線型のキャリアから、複数のキャリアや多様な人生を歩むようになること



生命保険には本来、人の力を引き出し自立を支援する「エンパワーメント」機能があります。

生保産業には、「リスクへの備え」はもとより「リスクの予防」「リスクからの脱却」に至るまで、エンパワーム

ント機能を様々な分野・場面でより発揮し、国民・お客さまの生活をしっかりと支えていくことが一層求められています。

地域住民・お客さまが安心・安全にくらしていくために、 生保産業としてさらなる地域貢献を

地域社会は高齢化や過疎化の進行等、様々な課題を抱えており、その持続性・安定性が危惧されています。とりわけ地域社会を活動の基盤とすると同時に、生活の基盤としている営業職員は、地域住民・お客さまが安心・安全にくらしていけるよう、一層貢献していく必要があると考えています。

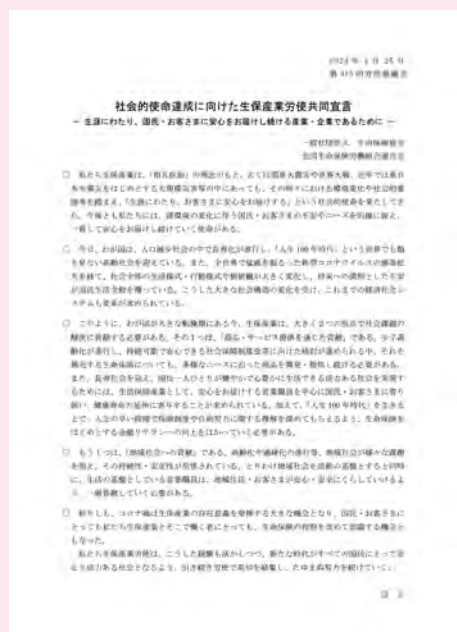
生保産業労使は、産業の持続的かつ健全な発展、そして、すべての国民にとって安心と活力ある社会の実現に向けて、労使共同宣言を2024年1月に採択しました。

今後の生保産業には、地域の安全確保に貢献する見守り活動や、くらしに役立つ情報提供(健康や介護、防犯など)、様々な世代の金融リテラシー向上に向けた貢献などが一層求められると考えています。

生保労連は、ちょっとした「目配り・気配り・心配り」をすることで、地域の安全に貢献する「地域の安全を見守る運動」を展開しています。



携帯用見守りカード



▲社会的使命達成に向けた生保産業労使共同宣言